

※音声記事は除外しております。

■言葉の背景を把握する為のコンテンツ

●2月14日【「例えば」と「喩えば」は違う】

- ⇒・チャンクダウン…視点をよりミクロな視点に持って行くような言葉の使い方。物事を具体化する表現がこれに相当する。感覚・感情が増幅したり、深刻な気分になりやすいという特徴がある。
- ・チャンクアップ…視点をよりマクロな視点に持って行くような言葉の使い方。物事を端的に表現したり、比喻で対象を矮小化するような表現がこれに相当する。気分が軽くなったり、面白おかしい気持ちになりやすいという特徴がある。
- ・「思う」と「想う」の心理学的違い…当方の定義では、「思う」とは論理的思考にアクセスすることであり、「想う」は内的な感覚(視覚・聴覚・体感覚等)にアクセスすることである。
内面・心の動きをどちらも表現したものであるが、そのベクトルが異なるので、当方では意図して使い分けるようにしている。
- ・「例えば」と「喩えば」の心理学的違い…日本語の読みでは同じ「たとえば」でも、エピソードとしての「例えば」と比喻としての「喩えば」では、表現の質が異なる為、当方では意図して使い分けるようにしている。
エピソードを表す「例えば」では、具体例としての事例とストーリーを語っており、心理学的にはチャンクダウンの効果(視点が低くなる)がある。
対して、比喻を表す「喩えば」はどちらかと言うと、物事を端的に表すことが多く、チャンクアップ(視点が高くなる)効果があるのである。

■新たな観点から情報を得るメンタルツール

●2月1日【望むことが全て経験できる機械があったとしたら…】

- ⇒経験機械…哲学上の思考実験の一つ。哲学者・ノージックが提唱。理屈上、望むことが何でも疑似体験できる機械があるとすれば、人間は満足した人生を送れる筈だが、もしそうでは無いとするなら、快樂や幸福以上に大切なものが現実にはあるのでは無いかと言う、主に功利主義の快樂説に問題提起する為に提示された。

●2月3日【悩みの資産価値】

- ⇒ユーティライゼーション…NLP等の実践心理学では、一見ネガティブに見える反応や行動パターンも有効活用できると言う考えがあり、全てをリソースとして捉えて活用しようと言う基本姿勢を「ユーティライゼーション」と呼ぶ。